



JCI

社団法人 三原青年会議所新聞

やっさもっさ

2008年8月25日 Vol.360

三原JCビジョン

誇想力

発行/社団法人 三原青年会議所

編集/広報委員会

三原市皆実4丁目8-1

三原商工会議所内

TEL (0848) 63-3515

FAX (0848) 62-1141

E-mail:info@mihara-jc.com

HP:http://www.mihiara-jc.com

8月8・9日、三原駅前で開催された「やっさ祭り」に約2000人の子どもたちが出場し、やっさやっさのおはやしが響き渡りました。今月号は元気よく「やっさ踊り」を踊った子どもチームに注目してみます。

## 三原の全ての子どもたちにやっさを！

本年度(社)三原青年会議所では、合併した三原市にもっと「郷土愛と一体感」を深めるためには「やっさ踊り」を踊り「やっさ祭り」に出場することが有効なのではないか、と提唱しています。第33回三原やっさ祭り実行委員会は、「子どもやっさ部門」を新設し、行政や教育関係機関、また各小学校等に積極的に出場を訴えかけ、本年度は8月9日の「子どもやっさ部門」に昨年までの4チームに、新規4チームが加わり、合計8チームの子どもたちの出場が実現しました。しかし、三原市内には32の小学校があり、今年はその4分の1の出場となりました。全ての子どもたちの出場にはまだまだ遠い状況でしたが、その実現へ向けた第一歩を踏み出しました。



## みたかきいたか

当会議所の「地域の教育力向上委員会」が推進しているコミュニティ・スクールが昨年の197校から今年の4月時点ですでに343校に増加したことが文部科学省のまとめでわかった。全国ベースで見ると導入率は1%未満であり、都道府県別

の導入状況も偏りがあるため、文科省はさらに普及に努め今年5月、事例集を5万部作成して全国の公立校や教育委員会に配布している。◆日本大学の佐藤晴雄教授が昨年度設置した185校に行ったアンケートでも「地域が協力的になったか」という問い合わせに肯定的な回答が過半数を占めた。同教授は「教師

や教育委員会だけで運営していた学校に住民や保護者の力を取り込めば活性化につながるはず」と指摘している。◆話はかわるが、今年も盛大に三原やっさ祭りが開催された。その中で子どもやっさとして8チームが参加し三原のまちを練り踊った。昨年の4チームから倍のチームが参加した背景には実行

委員会の積極的な呼びかけに、保護者や学校関係者が共感した結果だ。◆三原市にもコミュニティ・スクールが導入され学校、地域、保護者が力を合わせ教育環境の活性化に取り組んで欲しい。その活性化の一つの方法として三原やっさ祭りに参加することは非常にふさわしいのではないだろうか。